

夢の扉

自分にとっては、2020年は人生の転換点です。

私は生まれてからずっと生活していた土地や3年間一緒に仕事をしていた同僚と別れ、夢を叶えるために一人で日本に来ました。夢といっても、ごく普通に、日本の文化に惹かれ、ここに生活したかったからです。

高校の時、私は「勉強しなさい」とばかり、親に言われてきました。しかし、日本のアニメを通じて、授業以外に、生徒たちと一緒に楽しめる多様なサークル活動や、神様に感謝を表す各地方の伝統的なお祭りなどの文化が存在することを知りました。その時から、私は日本の生活に憧れ始めました。

大学の時、「すしの神」という動画を見ました。「すしの神」といわれている小野さんが料理に対するこだわりや、一生をかけて、究極の旨味を追求してきたその姿を今でも鮮明に覚えています。最近自分も魚を捌いて日本料理を作ることを始めました。行き詰まって戸惑う時に、彼の職人精神を思い出すと、何だか力が湧いてきます。彼が握ったすしを食べる機会はまだありませんが、いつかきっと食べてみたいです。

新年の時、友たちと一緒に初詣に行きました。深夜零時なのに、神社は昼間以上に多くの人が集まり、賑わい(にぎわい)活気に溢れていました。新年の平安を祈んだ後、人生初めてのお祭りを体験しました。数え切れない屋台、楽しく遊べるゲームや安く美味しい料理がたくさんあって、人々の笑顔や笑い声が、今でも耳元に響いているみたいに覚えています。

家族と離れて、仕事を辞めてまで外国に行くなど、ありえないと考えている人もいるでしょう。しかし、私は後悔していません。新しい人生はここからです。「何かを諦めないと、何も得られない。夢のない人生は希望がない。」私たちが足を止めない限り、道はつづき、夢はきっと叶えられます。それを叶えるために、今こそその扉を開きましょう。